

◆福祉と教育◆
ともに学ぼう！

ヤングケアラーのことをみんなで学ぶ研修会 開催要領

- 1 趣 旨 昨今の報道等で「ヤングケアラー」への理解は徐々に高まってきていますが、本人自身にヤングケアラーという自覚がない場合も多く、子どもらしい生活が送れず誰にも相談できない状況がうかがえます。一方で、家庭内の役割として子どもが家族をケアすることで家族の絆が深まり、思いやりや責任感が育まれるといった理解もありますが、過度な負担が続くことで、子どもの心身の成長に影響がでる恐れがあります。
本研修では、ヤングケアラーの当事者の思いを学び、ヤングケアラーに対する理解を深めるために開催します。
- 2 主 催 社会福祉法人長野県社会福祉協議会（長野県委託事業）
- 3 共 催 長野市（予定）
- 4 後 援 長野県社会福祉士会（予定）
- 5 期 日 令和5年（2023年）12月14日（木）
- 6 会 場 長野市若里市民文化ホール中会議室（長野市若里3-22-2）
- 7 方 法 ハイブリッド開催（会場参加+オンライン）
- 8 参加対象 (1) 教育関係者、学校関係者、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等
(2) 福祉関係者、児童相談所、福祉事務所、市町村職員、市町村社協職員等
(3) 地域包括支援センター、障がい者支援センター、まいさぼ職員等
(4) 民生委員児童委員、主任児童委員、子ども食堂関係者等
(5) ヤングケアラー、元ヤングケアラー、きょうだい・きょうだい児、ヤングケアラー等の親・兄弟姉妹・親戚等の親族
(6) ヤングケアラー等に興味がある人
- 9 参加費 無料
- 10 定 員 会場・オンライン 各100名

11 日 程

時 間	内 容
12:30～13:00	受付
13:00～13:10	◆開会・趣旨説明
13:10～13:20	◆行政説明 「長野県におけるヤングケアラーの現況について」 説明者 長野県県民文化部こども若者局次世代サポート課職員

13:20～14:20 (60分)	<p>◆基本講演 「ヤングケアラーの基本的な理解」 ○講師：持田 恭子 氏（一般社団法人ケアアクションネットワーク協会代表理事）</p> <p>小学生から現在に至るまで家族のケアを継続しているケアラー。ダウン症のある兄と共に育ち、母親の感情面のサポートを主に行ってきた。外資系企業の管理職を経て、30代後半に母親の在宅介護と仕事の両立を経験した後、適応障害と介護うつを発症した。その後、家族目線でケアの課題と向き合い、2013年にケアアクションネットワークを設立。2019年の法人化とともに代表理事に就任し、現在は、自治体の委員会で委員を務め、政府への政策提言を行いながら、講演や執筆活動、講師活動や映画制作など幅広い事業を手掛ける実業家です。</p>
14:20～14:30	(休憩)
14:30～16:00 (90分)	<p>◆シンポジウム 「今、伝えたい ヤングケアラーの声」 ○シンポジスト 美齊津 康弘 氏（元ヤングケアラー、（一社）生活互助支援の会 代表理事） 相澤 純也 氏（南信州きょうだいの会こたつむり代表）他 ○コーディネーター 持田 恭子 氏（同上）</p> <p>美齊津 康弘 氏 小学校5年生の時に母親が若年性認知症を発症したことで、それまでの生活が一変し、日に日に症状が悪化していく母親のケアを経験。周囲に助けを求めることができなかった経験を踏まえ、困っている人が気軽に声をかけられることができる仕組みとして「買い物に困っている人」と「地域のボランティア」をマッチングできるシステム「えんじよるの」を立ちあげるなど精力的に活動しています。</p> <p>南信州きょうだいの会こたつむり 障がいや病気の兄弟姉妹をもつ「きょうだい」が交流する当事者グループで、毎月の交流会や、映画上映会や講演会を通して「きょうだい」の理解を深める活動をしています。</p>
16:00	閉会

12 参加申込 下記 URL から Google フォームにて 12月7日（木） までにお申込みください。
URL : <https://forms.gle/fBGTny4ki3JmaxnA8>

13 問合せ先 社会福祉法人長野県社会福祉協議会 総務企画部 企画グループ
電話：026-228-4244 ファックス：026-228-0130
E-mail:kikaku@nsyakyo.or.jp

14 その他

本研修を中止または延期する場合は、本会のホームページ(<http://www.nsyakyo.or.jp>)に掲載して通知します。また、本研修に係る個人情報、本会の「個人情報の保護に関する方針」に基づき適正に取り扱い、ほかの目的で使用することはありません。